

地域交通ビジョンの進捗状況と課題

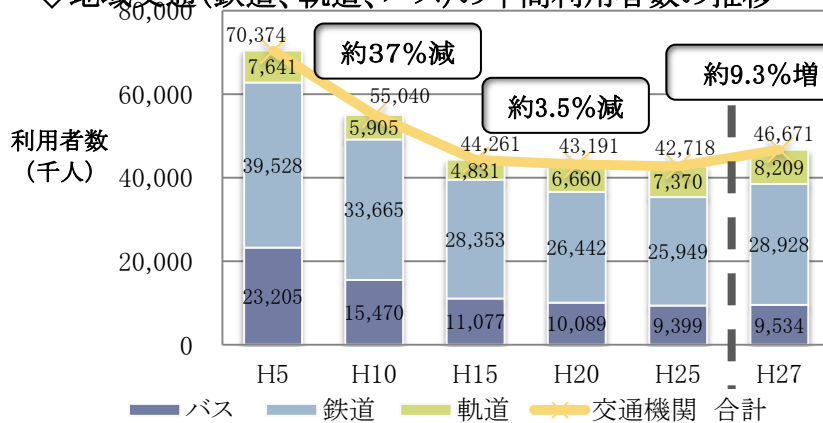
【地域交通の利用者数の推移と新幹線の開業後の状況】

資料 3 - 1

○近年、本年の鉄軌道・バスの輸送人員は、減少傾向(H5～H15で約△37%)が続いていたが、直近の10年間(H15～H25)は軌道の利用者の増加等により、3.5%の減少にとどまっている。

○北陸新幹線開業により、鉄道を利用した北陸地域と首都圏との流動人口は約3倍に増加。県内観光地の入り込み客数が増加し、地域交通の利用者も開業前に比べ増加している。

◇地域交通(鉄道、軌道、バス)の年間利用者数の推移



※H27の鉄道利用者数
・北陸新幹線利用者を含む(H25までは特急利用者を含む。)
・並行在来線の経営分離により、乗り継ぎの場合のカウント方法が開業前と異なる。

	H5-H15	H15-H25	H25-H27
バス	-52.3%	-15.1%	1.4%
鉄道	-28.3%	-8.5%	11.5%
軌道	-36.8%	52.6%	11.4%
合計	-37.1%	-3.5%	9.3%

◇平成27年富山県観光客入込数 (H27.1.1～H27.12.31)

<観光地>	H27入込数	対前年増
ひみ番屋街	1,239 千人	8.0% 92 千人
道の駅福光	1,103 千人	10.9% 108 千人
海王丸パーク	1,075 千人	8.6% 85 千人
立山黒部アルペンルート	997 千人	9.7% 88 千人
五箇山	794 千人	12.3% 87 千人
新湊きつときと市場	639 千人	12.2% 70 千人
黒部峡谷鉄道	402 千人	17.5% 60 千人
宇奈月温泉	375 千人	29.3% 85 千人
瑞龍寺	247 千人	55.3% 88 千人

<イベント>	H27入込数	対前年増
となみチューリップフェア	321 千人	12.6% 36 千人
おわら風の盆	220 千人	10.0% 20 千人
福岡町つくりもんまつり	150 千人	15.4% 20 千人
高岡御車山祭	132 千人	20.0% 22 千人

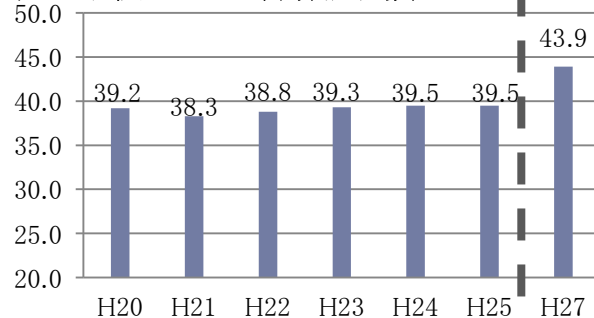
○入込総数(延べ数)は34,126千人で北陸新幹線開業(3/14)効果等により、前年と比較して、17.5%増加した。

○観光庁の共通基準による入込総数(実数推計)は15,643千人で前年と比較して26.4%増加した。

○また、外国人宿泊者数は200千人で、新幹線開業効果や円安、ビザ発給要件の緩和等により、前年と比較して36.6%増加した。

◇地域交通(鉄道、軌道、バス)の利用率

(1人当たりの県内の鉄軌道・バスの年間利用回数)



※H26数値は、年度末に北陸新幹線の開業や並行在来線の経営分離等が影響した値となっているため、本資料には採用しない

○地域交通ビジョンでは、「地域交通の一日あたりの乗車人員については、近年減少傾向が続いているが、こうした基本目標の実現に向けた取組みを進めることで、新幹線開業後の現在の利用水準の維持に努めるものとする。」としている。

【参考】 富山県の広域交通ネットワーク図



地域交通ビジョンの進捗状況と課題【域内交通】

資料 3－1

基本的な方向	地域住民の身近な生活圏内での移動を確保するため、市町村のまちづくり計画と連携し、地域内の交通ネットワークの充実と利用促進を図る。
これまでの主な取組と現状	①市町村におけるまちづくり計画と連携した地域交通ネットワークの計画の策定・推進 ②地域の実情に応じた多様な地域交通サービスの展開 「地域交通計画」(※1) を策定しているのは6市で、ビジョン策定時から変わらない。ただし、6市のうち富山市と魚津市は、平成28年度に新たに「地域公共交通網形成計画」を策定。 (※1) 地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通総合連携計画」(H19～) 又は「地域公共交通網形成計画」(H26～) 「地域公共交通会議」(※2) は14市町で設置されている。例えば、黒部市ではバス路線のルート変更をはじめ、地鉄宇奈月温泉駅のバリアフリー化の調査などの取組みが行われている。 (※2) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項、市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項、その他これらに関して必要となる事項を協議（道路運送法施行規則） - 市町村やNPOが運行するコミュニティバスは14市町で運行。ルート、ダイヤ、運賃等について、利用実態や地元のニーズ・要望等も踏まえ、地域公共交通会議等において関係者と協議しながら必要な見直しを検討している団体もある。 - 県では、補助制度に基づき、民営バスや市町村・NPO が運行するバス路線の運行を支援している。毎年多額の県費が投入されており、地域交通ビジョンにおける関係者の役割分担を踏まえつつ、より効果的で効率的な補助制度となるよう、必要な見直しを検討している。 ③公共交通不便地域の利便性の確保 「公共交通空白地域」(※3) を定義している市町村は6団体である。 (※3) 明確な定義が定められておらず、市町村が地域の実情に応じて該当する地域を定義。 - 山間地など定期路線バスの運行に適さない地域等においては、利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行うデマンド型交通の導入が進められてきているが、依然として、空白地域が存在する。 ○導入済み ・デマンド型タクシー…富山市、射水市、黒部市、小矢部市、入善町 ・デマンド型バス…富山市、南砺市 ※運行区間が一部がデマンド運行となっているもの ○導入予定 → 砺波市が平成29年度10月から庄東、雄神地区でデマンド型タクシーの実証運行を行う予定。
主な課題と対応案	○まちづくりと連携し、面的な地域交通ネットワークの構築を図るためには、市町村等が交通事業者などと連携しつつ、地域公共交通網形成計画等を策定し、計画的に施策を推進することが望ましいことから、計画未策定の団体においては策定の検討が求められる。 ○バス路線については、利便性と効率性の観点から、持続可能なバス路線となるよう、利用実態や住民ニーズ等を踏まえつつ、必要な見直しを進めることが必要。そのため、引き続き「地域公共交通会議」等において関係者が協議し、合意を図りながら見直しを進める必要がある。 ○県としても、バス運行に係る補助制度において、収支改善の取組みを促す仕組みや、条件不利地域を運行する路線の支援のあり方を検討するなど、持続可能なバス路線となるよう、必要な対応を検討する必要がある。 ○車を利用しない方々の生活の足の確保が求められており、公共交通空白地域の解消に向け、市町村が中心となってコミュニティバスやデマンド型交通など地域の実情に応じた生活交通サービスの提供や、高齢者が利用しやすい多様な移動サービスの展開を検討する必要がある。 ○また、運転手不足が懸念される中、中長期的な視点に立って、自動運転技術を活用して交通インフラの充実を図っていくことについても検討していく必要がある。 ○上記課題を踏まえ、引き続き市町村において、交通事業者など関係者が連携し、住民ニーズや利用状況等を把握しながら、まちづくりと連携して地域内の交通ネットワークの充実に努める。県としても、市町村や交通事業者等と連携して、必要な支援を行う。

◇目標指標	(策定時)	(現状)	(目標)
地域交通計画を策定している市町村数	6市町村	6市町村	15市町村
公共交通空白地域	市町村ごとに一部存在	市町村ごとに一部存在	できる限り解消

●地域交通計画の策定状況

富山市	富山市地域公共交通網形成計画(H28.9)
高岡市	あいの風とやま鉄道地域公共交通網形成計画(高岡市)(H27.4)
魚津市	魚津市地域公共交通網形成計画(H28.10)
滑川市	滑川市地域公共交通総合連携計画(H20.3)
黒部市	黒部市地域公共交通網形成計画(H27.4)
小矢部市	小矢部市地域公共交通網形成計画(H27.6)

※その他市町村は、総合計画等に交通計画を記載

●コミュニティバスの状況

	コミュニティバスの名称等	路線数	コミュニティバス路線の見直し例 (これまでの取組み、検討中、今後の予定)
富山市	婦中コミュニティバス(3) 八尾コミュニティバス(10) 山田コミュニティバス(4) 大山コミュニティバス(5) まいどはやバス(2) 富山港線フィーダーバス(2) 呉羽いきいきバス(2) 水橋ふれあいコミュニティバス(2)	計30路線	H28 4月1日 市営コミュニティバス(八尾・山田・大山)運行ルート・ダイヤの一部変更
高岡市	高岡市コミュニティバス「こみち」(2) 高岡市公営バス(福岡地域)(6)	計8路線	H23 「こみち」1路線を見直し
射水市	きときとバス	19路線	H28 7路線のルート・ダイヤの見直し及び新庁舎開庁にあわせて10月3日から新たに1路線を運行開始
魚津市	魚津市民バス	9路線	H27 郊外ルートの運行委託先を各地区のNPO法人から魚津タクシー協会に変更 毎年概ね4月に地域と協議の上ルート、ダイヤの変更を実施
氷見市	NPOバス	4路線	
滑川市	のるmycar	7路線	H28 6月1日運行ルート、ダイヤの一部変更
黒部市	コミュニティバス	5路線	H28 10月3日ルート、ダイヤの見直しを実施
砺波市	砺波市営バス	10路線	高齢者1,500人や福祉施設利用者等を対象にアンケートを実施し、バス路線の見直しを検討中
小矢部市	メルバス	5路線	H28 6月20日運行ルート、ダイヤの一部改正(2路線)
南砺市	なんバス	22路線	利用者アンケートを実施し、バス路線の見直しを検討中
舟橋村	—	—	—
上市町	上市町営バス	6路線	H28 4路線を見直し
立山町	立山町営バス	6路線	H28 2路線を見直し
入善町	のらんマイ・カー	2路線	H27 6路線を見直し
朝日町	あさひまちバス	12路線	H25まちバスの全面的見直し

●公共交通空白地域について

駅やバス停から一定の距離を越えた地域が地域公共交通の空白地域になるが、全国共通の基準はなく、市町村が地域の実情に応じて該当する地域を定義している。

※公共交通空白地域を定義している市町村

市町村	定 義
富山市	鉄軌道・民間路線バスから750mの範囲外を公共交通空白地域としている。
高岡市	高岡市総合交通戦略では、「公共交通空白地域は、人口密度が20人/ha未満の地域であり、かつ駅・電停・バス停圏域に入っていない区域」としている。
滑川市	滑川市地域公共交通総合連携計画では、「各公共バスのバス停を中心として半径300mの範囲、あいの風とやま鉄道（JR）駅、地鉄駅を中心として半径500m以内に含まれていない地区を公共交通空白地と設定する。」としている。
黒部市	鉄道駅から半径500m、バス停から半径300m圏外
南砺市	城端線、民間路線バス、なんバスが運行していない地域
入善町	町営バス「のらんマイ・カー」の路線が通らない地区が交通空白地帯となっている。

●デマンド型交通の状況

(1)デマンド型バスの導入状況

	市町村	運行開始	運行エリア	路線(デマンド区間を含む)	大人料金	備考
1	富山市	H22	大山地域	才覚地線、小坂線、西小俣循環線、糊ヶ原線、小佐波線	200円/回	日、祝日、振替休日、12/30～1/3運休
		H28	山田地域	谷・牛岳温泉スキー場線、清水線		土のみ全3便デマンド運行
2	南砺市	H19	平地地域	祖山線(下梨ポケットパーク前～祖山)、小来栖線、田向線	200円/回	土、日、祝日運休
			平～井波地域	下梨井波線(高草嶺～寿川)		火、金のみ運行
			平～城端地域	成出城端線(上梨村上家前～成出)		土、日、祝日運休
			利賀～井波地域	利賀井波線(大勘場～田の島)		1/1～1/3運休
			利賀～八尾地域	利賀八尾線(天竺温泉)		
			利賀地域	村内線(上利賀方面、百瀬方面、豆谷方面)		
			福野地域	安居循環線(布袋～三ツ屋)		土、日、祝日、12/29～1/3運休

(2)デマンド型タクシーの導入状況

	市町村	運行開始	運行エリア	大人料金	備考
1	富山市	H17	大沢野、大久保、船峯、小羽、下タ地域	300円/回	満65歳以上の高齢者世帯又は満70歳以上日、祝日運休
2	射水市	H24	・大門、大島地域、・大門、大島地域以外の一部目的地(射水市民病院、小杉駅南口、いみずのショッピングタウンアルビス前)	300円/回	1日乗車券(500円)でコミュニティバス、デマンドタクシー、きときとバスの乗車が可能
3	黒部市	H23	田家野～中山エリア、前沢～宮野エリア	500円/回	月、水、金運行(祝日運休)
		H27	村椿地区・大布施地区、荻生地区		火、木、土運行(祝日運休)
4	小矢部市	H20	岡線、内山・臼谷線、小森谷線、五間橋線、津沢・南部線、水島線	200円/回	土、日、祝日、12/31～1/3運休 1日、デマンドタクシーとコミュニティバス(メルバス)の乗車が可能
5	入善町	H27	町内全域(自宅～町内39か所の目的地)	500円/回	日、12/30～1/3運休

(3)デマンド交通の実証運行に対する県の補助実績 (単位:千円)

年度	市町村名	県補助額	事業内容
23	射水市	4,481	大門・大島地区デマンドタクシー実証運行
	黒部市公共交通戦略推進協議会	687	愛本地区コミュニティタクシー実証運行(交通マップ等作成費に対し補助)
27	入善タクシー、丸善交通	343	デマンド交通予約センター運営費
	入善町	211	デマンド交通サイン・チラシ・パンフレット等作成
		5,722	

※黒部市デマンドタクシー事例

デマンドタクシー

予約式の乗り合いタクシー。固定の運行ルートがなく、所定の施設へ直接出かけられます。利用には事前登録(無料)と、運行時間の2時間前までの予約が必要です。

※乗り合いタクシーとは、目的地や経路が近い人たちと一緒に送るサービスですので、他の利用者と同乗していただくことがあります。

運賃

1人/1回500円(往復の場合は1,000円)
※登録者の同伴者も同額

回数券

500円券 9枚綴り/3,000円

回数券の
販売場所

●デマンドタクシー車内
●黒部市役所企画政策課

利用例

①乗車日の運行時間の2時間前までに電話で予約します。

利用者

くろべ交通株式会社に電話で時間と行き先、帰りの時間を伝える。

くろべ交通株式会社

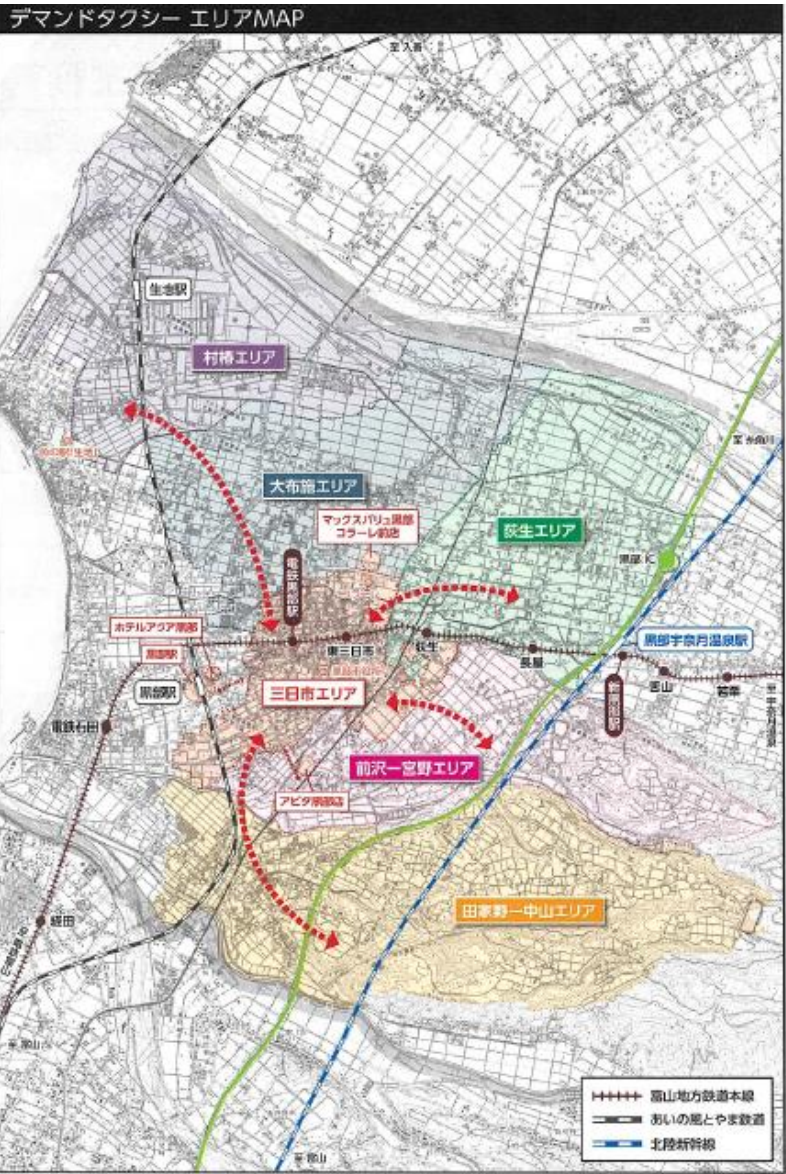
〇〇さんですね。本日のXX時便の予約を受け付けました。自宅まで待っていてくださいな。

②タクシーが自宅へ迎えに来ます。目的地へ出発!

③行き先は下記に限定

●三日市エリア
●アピタ黒部店
●あいの風とやま鉄道・黒部駅
●ホテルアーク黒部
●マックスバリュ黒部コラーレ前店

④利用者が用事をすませ、予約した帰りの時間がきたら利用者の自宅まで送ります。



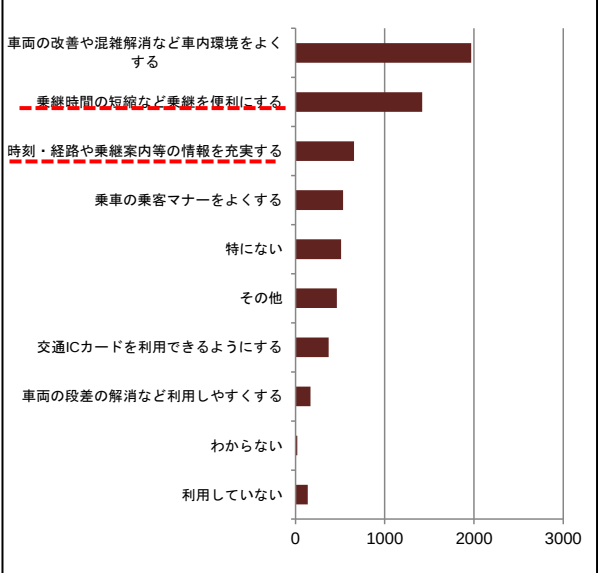
地域交通ビジョンの進捗状況と課題【域間交通】

基本的な方向	本県の豊富な鉄軌道網や幹線バス網を活用し、交通機関相互の接続利便性の向上により、地域間の交通ネットワークの充実と利用促進を図る。
これまでの主な取組と現状	①公共交通機関相互の接続利便性の向上等 - 富山県が平成27年に実施した「地域交通利用状況調査」の利用者アンケートでは、地域交通への改善点として、「乗継時間の短縮など乗継を便利にしてほしい」「時刻・経路や乗継案内等の情報を充実してほしい」など乗継に関する意見が多かった。 - 交通機関相互の接続利便性がよくないと目的地まで時間がかかり、地域交通の利用が敬遠される要因となる。 - ダイヤ改正の事前調整は一部の鉄道事業者間で実施されているが、鉄道と軌道・バスの間では実施されていない。軌道・バス事業者は鉄道のダイヤ改正情報の早期提供を求めている。 - 北陸新幹線と在来線との接続利便性を高めるため、行政が支援してＪＲ城端線、高山本線、富山地方鉄道において増便試行が実施されている。 ・ＪＲ城端線：高岡～城端１日８便（行政負担：97,989千円（県1/3、沿線市2/3）） ・ＪＲ高山本線：富山～越中八尾１日７便（行政負担：30,996千円（富山市）） ・富山地方鉄道：西魚津～宇奈月温泉１日１０便（行政負担：36,666千円（県1/2、沿線市1/2）） - 新幹線を利用して本県を訪れる県外旅行者等に、複数の公共交通機関を利用した県内観光を楽しんでいただくため、交通事業者が連携した企画きっぷが発売されている。 - あいの風とやま鉄道の利便性向上のため、県内２箇所で新駅整備が進められており、「高岡－西高岡間」新駅は平成30年春の開業を予定している。 - 鉄道の既存駅において、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化が進められているが、完了していない駅舎もある。 ②利便性を考慮した等時隔ダイヤの実現 - 県内では、地鉄軌道線、ライトレール、万葉線及び一部のコミュニティバス（射水市、滑川市、魚津市）で等時隔ダイヤが実施されているが、鉄道については実施されていない。（地鉄軌道線：5分間隔等、ライトレール：平日朝10分間隔、平日日中15分間隔等、万葉線：19:45までは15分間隔） ③拠点駅など交通結節点の機能強化 - 駅や駅周辺整備として今年度は氷見駅の周辺整備が完了。現在、連続立体交差事業による富山駅の高架化や、図書館等と一体整備する石動駅の整備等が進められている。 - パークアンドライド駐車場設置駅は平成27年度末で52駅あり、今年度は、あいの風鉄道黒部駅で駐車場が整備されているほか、地鉄バスの３つのバス停で駐輪場が整備された。 ④複数の市町村等の連携による地域交通の利便性向上 - 沿線市等で構成する城端・氷見線活性化推進協議会では、増便、交通ＩＣカード、直通化の検討などを盛り込んだ両線沿線の地域公共交通網形成計画の策定を検討中。 - 複数の市町村（合併前を含む）を跨ぐ民営の幹線路線バスが運行（H28県補助29路線）されているほか、一部のコミュニティバスが市町村を跨いで運行されている。
主な課題と対応案	○交通機関相互の接続利便性を高めるため、交通モード（交通手段）間・事業者間の連携を今まで以上に強化していく必要がある。 ○そのため、交通事業者間でダイヤや乗継案内、乗継施設等に関する課題を共有し、連携して対応方策等を検討していくことが必要でないか。 ○等時隔ダイヤは車両運用などで制約もあるが、利便性向上と効率的運営が期待されることから、可能な限り実現できるよう、検討を進める。 ○拠点駅における拠点機能強化のため、ニーズや事業効率等を踏まえ、引き続き関係者が連携して必要な駅舎整備や駅周辺整備を進める。 ○車利用者による地域交通の利用機会の拡大を図るため、利用者ニーズを踏まえて、パークアンドライド駐車場・駐輪場の整備を進める必要がある。

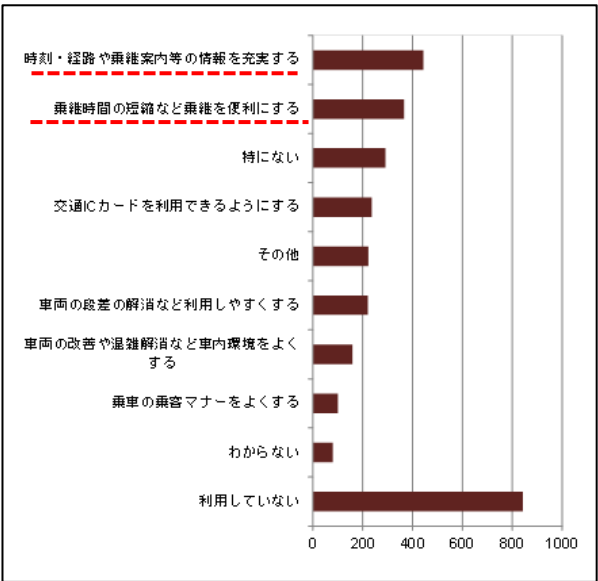
◇目標指標	（策定時）	（現状）	（目標）
幹線鉄道の運行間隔	1．5時間	1．5時間	概ね1時間程度※
（最大運行間隔の短縮）	から2時間程度	から2時間程度	

●地域交通に関して改善してほしい点（H27 県地域交通利用状況調査）

※県内居住者の鉄道に対する意見の場合



※県内居住者のバスに対する意見の場合



（その他はビジョンp5参照）

●交通事業者間や、交通事業者とコミバスを運行する市町村との連携等の事例

富山市	八尾コミュニティバスでJR高山本線越中八尾駅の発着ダイヤに合わせた時刻設定
高岡市	北陸新幹線開業に伴う路線見直し要望（高岡駅～新高岡駅のアクセス）
射水市	あいの風とやま鉄道や万葉線のダイヤに合わせダイヤを調整、コミュニティバス運行事業者と勉強会の実施
氷見市	JR氷見線との接続を基本としたダイヤ設定
魚津市	鉄道のダイヤ改正を踏まえたコミュニティバス各ルートの時間設定
滑川市	あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道（バス）の時刻表をコミュニティバス時刻表に掲載。
黒部市	愛本コミタクでは、地鉄電車との接続を考慮
砺波市	民間事業者のバス路線と重なるバス停留所を同一箇所に設置
小矢部市	あいの風とやま鉄道と市営バスとの接続。市営バス時刻表に市営バス間の乗り継ぎ、民営バスの路線図、運行ダイヤを掲載。
南砺市	市営バスの時刻について、JR城端線や民間路線バスと接続するよう毎年見直し
立山町	立山町営バス全路線において、富山地方鉄道(株)との接続を考慮（一部路線では、路線バスとの接続も考慮）。
入善町	（バス）あいの風とやま鉄道のダイヤとの接続を考慮している。（新幹線ライナー）北陸新幹線ダイヤとの接続を考慮した運行ダイヤを設定している。
朝日町	あいの風とやま鉄道のダイヤなどに注意して、ダイヤ編成
加越能バス	交通事業者間の連携は無いが、利便性向上のためJR等の時刻を考慮し取り組んでいる。
富山地方鉄道	（バス）新幹線ダイヤとの接続を考慮した新幹線市街地線の新設と運行（鉄道）新黒部駅での新幹線接続ダイヤの考慮、市内電車の新幹線始発終着時間接続
JR	来春ダイヤ改正について「あいの風とやま鉄道」と、可能な限り相互の接続を図る。
万葉線	あいの風のダイヤと調整
ライトレール	北陸新幹線との接続強化に向けた終電時間の変更 ライトレールとフィーダーバスの接続に合わせたダイヤ調整

●県内交通事業者の連携による域間企画きっぷ（平成28年度）

企画きっぷの名称	参加交通事業者
とやま1日乗り放題きっぷ【中央エリア】	・あいの風とやま鉄道・加越能バス ・富山ライトレール・万葉線・射水市
とやま1日乗り放題きっぷ【東部エリア】	・あいの風とやま鉄道・富山地方鉄道・魚津市・黒部警備
富山まちなか岩瀬1日フリーきっぷ	・富山地方鉄道・富山ライトレール
富山地方鉄道・アルペンルート5日間フリー乗車券	・富山地方鉄道・立山黒部貫光



●幹線鉄道の運行間隔で1時間を超えている事例(H29.1現在)

		駅名	出発時刻	次の出発時刻	運行間隔
【あいの風とやま鉄道】					
上り	高岡～金沢	高岡駅	8:58	10:03	1:05
		高岡駅	10:03	11:05	1:02
下り	黒部～泊	黒部駅	7:22	8:54	1:32
		黒部駅	21:11	22:19	1:08

【JR城端線】					
上り	城端～高岡	城端駅	8:38	10:03	1:25
		城端駅	13:23	14:24	1:01
		城端駅	19:25	20:40	1:15
		城端駅	20:40	21:41	1:01
下り	高岡～城端	高岡駅	9:01	10:10	1:09
		高岡駅	14:31	15:41	1:10
		高岡駅	15:41	16:42	1:01
		高岡駅	20:18	21:43	1:25
		高岡駅	21:43	23:10	1:27

【JR氷見線】					
上り	氷見～高岡	氷見駅	10:22	11:49	1:27
		氷見駅	14:24	16:02	1:38
		氷見駅	16:51	18:02	1:11
		氷見駅	20:55	22:07	1:12
下り	高岡～氷見	高岡駅	9:43	11:12	1:29
		高岡駅	12:03	13:47	1:44
		高岡駅	13:47	15:26	1:39
		高岡駅	16:17	17:28	1:11
		高岡駅	20:22	21:32	1:10
		高岡駅	21:32	22:45	1:13

【JR高山本線】					
上り(特急を除く)	富山～越中八尾	富山駅	8:14	9:34	1:20
		富山駅	10:32	12:34	2:02
		富山駅	12:34	14:05	1:31
		富山駅	15:02	16:09	1:07
		富山駅	20:47	21:50	1:03
		富山駅	21:50	23:23	1:33
下り(特急を除く)	越中八尾～富山	越中八尾駅	8:25	9:35	1:10
		越中八尾駅	11:16	13:06	1:50
		越中八尾駅	14:08	15:36	1:28
		越中八尾駅	15:56	17:15	1:19
		越中八尾駅	21:20	22:37	1:17

【富山地方鉄道】					
上り(急行・特急を除く)	電鉄黒部～中滑川	電鉄黒部駅	11:42	12:52	1:10
下り(急行・特急を除く)	中滑川～電鉄黒部	中滑川駅	13:05	14:07	1:02
		中滑川駅	22:16	23:23	1:07

●パーク＆ライド駐車場設置駅

	設置駅数	内訳
北陸新幹線	3	富山,新高岡,黒部宇奈月温泉
JR城端線	6	城端,高儀,砺波,東石黒,福野,福光,
JR高山本線	7	猪谷,越中八尾,笹津,千里,西富山,速星,婦中鶉坂,
JR氷見線	1	伏木
あいの風とやま鉄道	18	生地,石動,魚津,越中大門,越中宮崎,呉羽,黒部,小杉,高岡,泊,滑川,西高岡,西入善,入善,東富山,東滑川,福岡,水橋,
地鉄立山線	4	五百石,釜ヶ淵,岩峯寺,立山
地鉄不二越・上滝線	5	大川寺、大庄,上滝,月岡,不二越,
地鉄本線	10	新相ノ木,越中三郷,越中舟橋,新宮川,寺田,電鉄魚津,経田、滑川,東新庄,東三日市,

●複数の市町村(合併前の市町村を含む)を跨ぐ民営の幹線路線バス

番号	系統名	起点	経由地	終点
富山地方鉄道	1 滑川	富山駅前	針原新町	滑川駅前
	2 猪谷	富山駅前	笹津	猪谷
	3 富山～高岡	富山駅前	呉羽・小杉	新高岡駅前
	4 富山～小杉	富山駅前	呉羽	小杉駅前
	5 山田	富山駅前	速星・羽根	山田行政センター
	6 ファボーレ経由萩の島	富山駅前	ファボーレ前	富山駅前
	7 富山国際大学	富山駅前	開発	富山国際大学
	8 熊野経由八尾	富山駅前	新布瀬・分田	八尾鏡町
	9 城端	富山駅前	砺波駅南	城端行政センター
	10 五百石	富山駅前	石金	五百石駅前
加越能バス	1 脇	高岡駅前	新守山	脇
	2 守山経由氷見	高岡駅前	新守山・氷見駅口	氷見市民病院
	3 新高岡守山経由氷見	済生会病院	新守山・氷見駅口	氷見市民病院
	4 伏木経由氷見	済生会病院	伏木駅前・氷見駅口	氷見市民病院
	5 高岡ふしき病院経由氷見	済生会病院	ふしき病院・氷見駅口	氷見市民病院
	6 仏生寺	済生会病院	仏生寺・氷見駅口	氷見市民病院
	7 石動	済生会病院	立野・福岡町	石動駅前
	8 済生会・中田団地	高岡駅南口	済生会病院・中田団地	中田中学校前
	9 石瀬・牧野・海王丸パーク	済生会病院	野村・能町	海王丸パーク
	10 職安・富大付属病院	職業安定所前	高岡駅前・水戸田	富山大学付属病院
	11 加越	石動駅前	福野町・井波町	庄川町
	12 砺波立野脇	砺波市役所前	福野町・福光駅前	立野脇
	13 城端白川郷	城端駅前	西赤尾	白川郷
	14 庄川町	高岡駅前	砺波駅前・井波町	庄川町
	15 小牧	高岡駅前	砺波駅前・井波町	小牧堰堤
	16 戸出団地	高岡駅前	戸出団地・砺波駅前	砺波総合病院前
	17 若林	砺波市役所前	若林農協前・松沢	石動駅前
	18 井波金沢	井波	福光駅前	金沢駅西口
西日本JRバス	1 名金	金沢駅	香林坊・森本駅	福光駅
富山地鉄北斗バス	1 富山簡保保養センター	富山駅前	速星・羽根	富山簡保保養センター
	2 布目経由新港東口	富山駅前	布目・練合	新港東口

●複数の市町村を跨ぐコミュニティバス

市町村	系統名	起点	経由地	終点
きときとバス(射水市)	新湊・大門線	越ノ潟	姫野西口	越中大門駅
	新湊・本江線	足洗老人福祉センター	姫野口	新湊地区センター前
	七美・作道経由庄西線	足洗老人福祉センター	中曽根公民館前	中伏木駅前
	塚原・作道循環線	市民病院	上牧野	市民病院
	新湊・越中大門駅線	第一イン新湊前	牧野北口	大門高校
	新湊・呉羽駅線	新港東口	下地区センター前	呉羽駅前
	新湊・小杉線	古新町公民館前	姫野口	鷺塚東
	海王丸パーク・ライトレール接続線	岩瀬浜駅	足洗老人福祉センター	新湊大橋西栈橋口
のるmycar(滑川市)	蕨輪ルート	滑川駅前	鉢	みのわ温泉
	北部循環ルート	滑川駅前	(魚津)水族館前	市役所前
なんバス(南砺市)	利賀八尾線	スノーバレー	学校口	越中八尾駅
のらんマイ・カー(入善町)	新屋線	入善駅前	新屋	黒部市役所宇奈月庁舎
あさひまちバス(朝日町)	宮崎境線・市振線	泊駅前	あさひ総合病院前	市振
	愛本線	泊駅前	あさひ総合病院前	黒部市役所宇奈月庁舎

※パーク＆ライド駐車場の例(あいの風 泊駅)



地域交通ビジョンの進捗状況と課題【広域交通】

基本的な方向	北陸新幹線駅や富山きときと空港を起点とした広域的な交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る。
これまでの主な取組と現状	①北陸新幹線の県内駅、富山きときと空港との交通ネットワークの充実 - 黒部宇奈月温泉駅からあいの風とやま鉄道駅（魚津駅、入善駅、泊駅、越中宮崎駅）等へのアクセス向上のため、市町が予約式タクシーやバスを運行（※1）している。 （※1）おもてなし魚津直行便：1日38便、入善新幹線ライナー：1日22便、あさひまちバスエクスプレス：1日44便 - 新幹線駅と県内外主要観光地等を結ぶ観光路線バスとして、県も支援して「世界遺産バス」「わくライナー」「富山ぶりにかにバス」「アルペンライナー」が運行されている。また、観光イベント等に合わせた鉄道やバスの臨時便が運行されている。 - 富山駅南口において暫定の観光バス駐車場を県が事業主体となって整備し、平成28年11月4日から供用を開始している。（大型観光バス4台駐車、利用時間：午前6時～午後10時） - 空港と高岡市、砺波市、魚津市エリアを結ぶ乗合タクシーの実証運行を実施している。 - 国際線の運航ダイヤに合わせて空港と富山駅とを結ぶアクセスバスの実証運行を実施している。 ②広域周遊観光ルートの充実 - 県外観光客等の利便性向上のため、隣県と連携した広域周遊きっぷである「北陸トライアングルルートきっぷ」などの周遊企画きっぷが発売されている。 - 県では、今冬、北陸新幹線等を活用した冬の観光キャンペーン（※2）を実施し、新幹線の利用促進や冬期の誘客促進等を図っている。（H28年12月～H29年3月） （※2）新高岡駅・黒部宇奈月温泉駅間を利用する観光客の新幹線駅から観光地への片道又は往復の交通料金を無料化 - J R高山本線を活用した広域周遊ルートを紹介する英語版HPを作成し、訪日外国人向けポータルサイトから当該HPへ誘導し、高山本線の利用促進を図っている。 ③地域観光資源と連携した多様な観光列車の運行 - 富山地方鉄道の「アルプスエクスプレス」や「ダブルデッカーエクスプレス」、J R城端線・氷見線の「べるもんた」、万葉線の「ドラえもんトラム」などが運行されている。 - あいの風とやま鉄道では、今年度イベント列車「とやま絵巻」の運行を開始し、記念ツアーやワイン列車を運行している。また、観光列車の導入（H30）に向け、準備を進めている。 ④交通情報等の提供 - 各新幹線駅では、主要観光地等への交通情報を提供しているが、駅を利用する観光客等からは交通手段がわかりにくいとの意見が多い。 - 駅における外国語での表示については、一部の主要駅で対応されている。（※3） （※3）あいの風とやま鉄道が開業後に富山駅で5ヶ国語標記を実施など。 - 県外観光客等が路線バスを利用して県内観光地等を周遊できるよう、交通事業者がバス車両の案内表示等の整備・充実に努めており、県も支援している。（※4） （※4）観光客への路線バス案内表示整備事業（H28 予算 300 万円） - 交通情報の提供として、県では「富山らくらく交通ナビ」を整備運用しているほか、富山地方鉄道と加越能バスが路線バスの位置情報システム「とやまバスi」を運用している。
主な課題と対応案	○新幹線開業を契機に来訪者が増加しており、地域交通を利用して県内観光地等へ移動する方のため、観光地を周遊できる地域交通ネットワークの更なる充実が求められている。このため、引き続き関係者が連携し、現状と課題を踏まえ、必要な対応を図る。 ○来訪者の多様なニーズに対応できるよう、駅やバス停のほか、車両やバス内において、多言語対応の案内標記等、個人旅行者が地域交通を利用しやすい環境整備が求められており、引き続き各交通事業者において必要な対応を図る。

◇目標指標	（策定時）	（現状）	（目標）
観光客の県内交通機関の満足度	49%	55%	70%
新幹線駅に地域交通で1時間以内にアクセスできる県民の割合	90%程度	90%程度	できる限り高める

●黒部宇奈月温泉駅からの予約式タクシー等

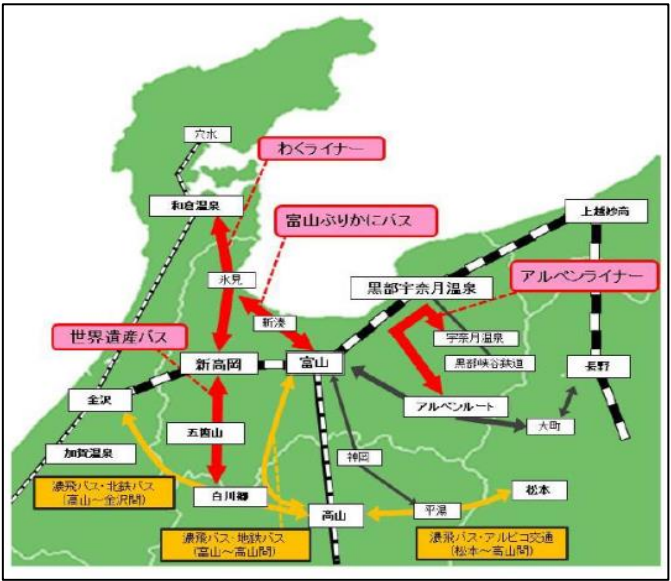
	おもてなし魚津直行便	①新幹線市街地線、 ②新幹線生地線	入善新幹線ライナー	あさひまちバスエクスプレス
市町村名	魚津市	黒部市	入善町	朝日町
ルート	黒部宇奈月温泉駅～魚津市内(ホテル等)・魚津駅	黒部宇奈月温泉駅～ ①黒部駅 ②生地駅	黒部宇奈月温泉駅～入善駅	黒部宇奈月温泉駅～泊駅～越中宮崎駅
運行方法	予約式乗合タクシー	乗合バス	乗合バス	予約式乗合バス
1日あたり便数	38便	①26便 ②21便	22便	44便
運賃	1,000円	①170～300円 ②200円	500円	800～1,000円

●観光路線バスの運行

- （1）ルート、便数
- 富山ぶりにかにバス（地鉄）
富山—新湊—氷見
平日1往復、休日3往復（4～10月）
平日2往復、休日4往復（11～3月）
 - 世界遺産バス（加越能）
高岡—新高岡—城端—五箇山—白川郷
毎日5往復（城端—白川郷間は6往復）
⇒H28.12.1～土日祝日限定で城端～白川郷間1日9往復に増便
 - わくライナー（加越能）
高岡—新高岡—氷見—和倉温泉
毎日4往復
 - アルペンライナー（地鉄）
宇奈月温泉—黒部宇奈月温泉—室堂
土日祝日 5/2・5/6（GW 期間中）
・・・1往復（H28.4.29～10.16）

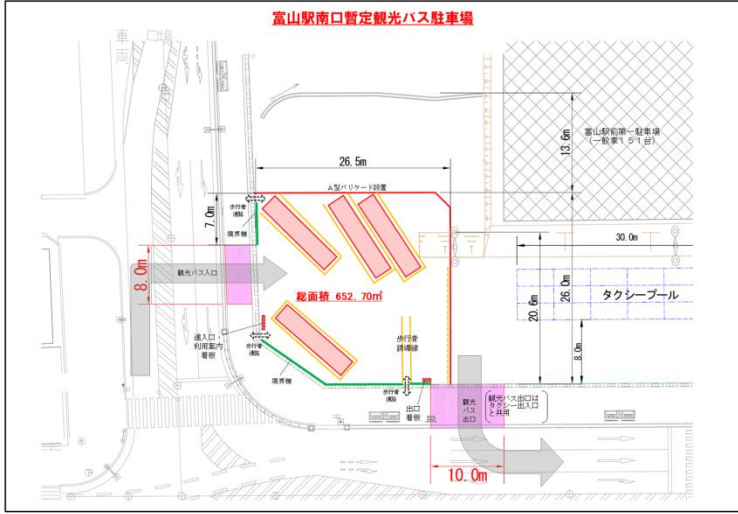
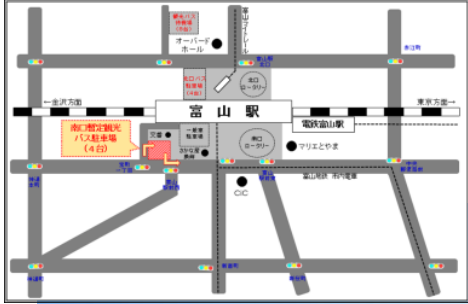
（2）利用状況（単位：人）

	年度	H27	H28 (10月まで)
富山ぶりにかにバス	年間 1日あたり	12,025 32.9	4,256 19.9
世界遺産バス	年間 1日あたり	72,120 197.0	33,364 155.9
わくライナー	年間 1日あたり	16,879 46.1	9,136 42.7
アルペンライナー	年間 1日あたり	918 15.0	882 14.5



●富山駅南口 観光バス駐車場の整備

- ・降車専用
- ・南西街区の開発までの暫定利用



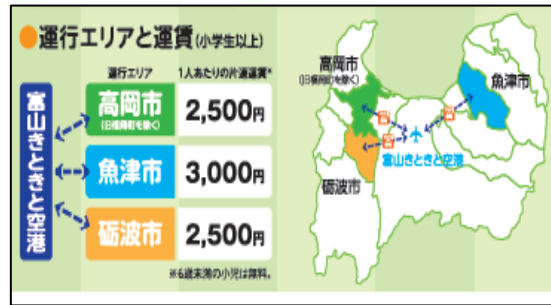
●富山きときと空港 乗合タクシー

【対象】 富山きときと空港発着の航空便利用者

(1人から予約可能、富山きときと空港発着の全ての便に対応)

【運行エリア】 富山きときと空港⇄高岡市内 (旧福岡町除く)・魚津市内・砺波市内

【電話予約】 事前予約制 (利用日の前日 17:00 までに予約)



●富山きときと空港 アクセスバス

【ルート】 富山きときと空港⇄富山駅

【運行時間】 国際定期便のダイヤに合わせて運行

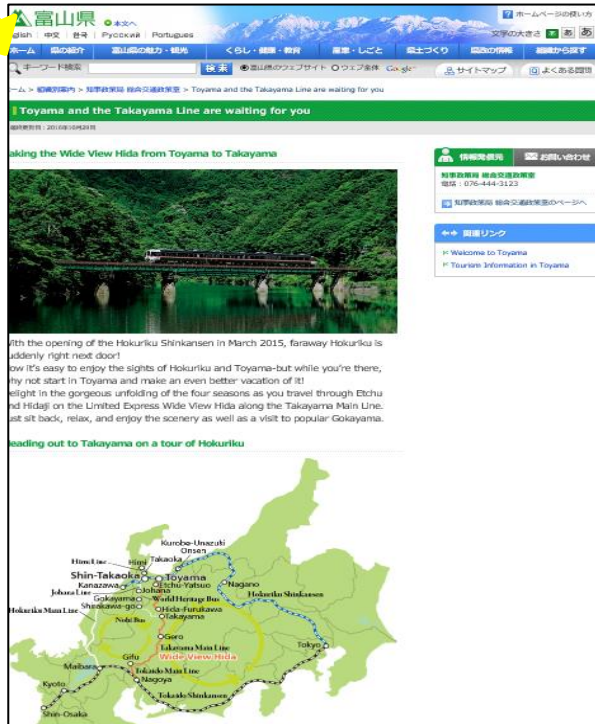
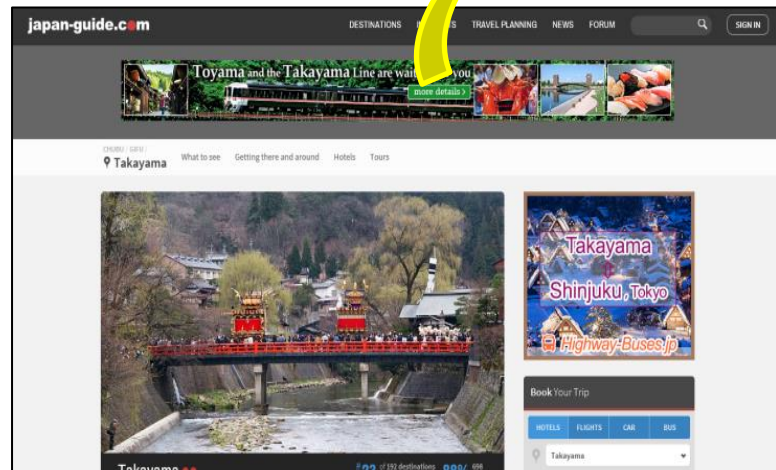
※航空便の遅延時はバスも運行管理に支障のない限り待機

【運賃】 410 円

●高山本線広域周遊ルートの紹介

○ジャパンガイド：世界N o 1 の訪日外国人向け日本情報ポータルサイト

クリックすると英語版富山県HPへジャンプする。



●交通事業者の連携による広域企画きっぷ(平成28年度)

企画きっぷの名称	参加交通事業者	自由周遊区間	有効期間	発売期間	価格
北陸トライアングルルートきっぷ	・JR西日本 ・あいの風とやま鉄道 ・IRいしかわ鉄道 ・のと鉄道 ・加越能バス	・JR線(高岡～氷見間、高岡～城端間、津幡～七尾間) ・あいの風とやま鉄道(高岡～倶利伽羅間) ・IRいしかわ鉄道(金沢～倶利伽羅間) ・のと鉄道(七尾～穴水間) ・加越能バス わくライナー(高岡駅前～和倉温泉間)	2日間	H28.4.1～H29.4.1	おとな2,500円 こども1,250円
北陸おでかけパス	・JR西日本 ・あいの風とやま鉄道 ・IRいしかわ鉄道 ・えちごキめき鉄道 ・のと鉄道	・北陸本線(長浜～金沢間) ・小浜線(敦賀～青郷間) ・越美北線(越前花堂～九頭竜湖間) ・IRいしかわ鉄道線(金沢～倶利伽羅間) ・七尾線(津幡～和倉温泉間) ・あいの風とやま鉄道線(倶利伽羅～市振間) ・JR城端線(高岡～城端間) ・JR氷見線(高岡～氷見間) ・高山本線(富山～猪谷間) ・えちごキめき鉄道日本海ひすいライン(市振～谷浜間) ・大糸線(糸魚川～中土間)	1日間	H28.3.2～H29.3.23	おとな2,500円 こども1,000円

●路線バスの位置情報システム「とやまバス i」



※「とやまバス i」では、富山駅を中心に走る路線バス、及び高岡駅を中心に走る路線バス位置情報を提供している。このサービスはインターネット経由でパソコンや携帯電話(i-mode,Yahoo!ケータイ,Ezweb,ILLCOM)から利用することができる。

【富山地方鉄道バス】

富山駅を中心にすべての路線がバスロケーションの対象。
対象外バス：高速バス、コミュニティバス、季節運行バス、臨時バス等

【加越能バス】

高岡駅を中心にすべての路線がバスロケーションの対象。

対象外バス：高速バス、コミュニティバス、臨時バス等



地域交通ビジョンの進捗状況と課題【交通環境の整備】

基本的な方向	環境負荷の低減につながる地域交通の利用を推進するため、高齢者のほか、利用者にやさしい、安全・安心な地域交通環境の整備に努める。
これまでの主な取組と現状	①全国相互利用可能な交通 I Cカードの導入促進 ・あいの風とやま鉄道…全 19 駅で導入済み（H27. 3. 26～） ・J R 西日本…城端線新高岡駅、北陸本線（金沢駅間～大聖寺駅）の各駅で導入予定（H29. 4 末） ※IR いしかわ鉄道も同時期に導入予定。導入後は、県内駅～金沢駅～大聖寺駅で利用可 ・万葉線…検討中 ・城端・氷見線活性化推進協議会…城端・氷見線への導入に当たっての課題整理中 ※富山地方鉄道…独自の交通 I Cカード導入済み ※富山ライトレール…独自の交通 I Cカード導入済み ⇒全国の主要カードとの相互利用はできないが、富山地方鉄道と富山ライトレールでは、相互利用可 ②駅舎・バス停等の利便性の向上 （ア）地域における拠点性の高い駅のバリアフリー化など ・新幹線、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道における 1 日あたりの平均利用者数が 3 千人以上の駅は、エレベーター設置等により全て段差解消済み。 ・富山地方鉄道の宇奈月温泉駅が平成 29 年度中の完成を目指し、バリアフリー化を予定。 ・あいの風とやま鉄道の「高岡－西高岡間」新駅（H30 春開業予定）は、エレベーターを設置するとともに、跨線橋を自由通路と共用する形で整備される予定。 （イ）低床車両やノンステップバスの導入 ○低床車両（L R T） ・富山地方鉄道 3 編成、富山ライトレール 7 編成、万葉線 6 編成、富山市（環状線） 3 編成 ○ノンステップバス ・富山地方鉄道 73 台（導入率 61. 3％） H28 年度 2 台導入予定 ・加越能バス 50 台（導入率 61. 7％） H28 年度 2 台導入予定 （ウ）バスロケーションシステムの導入など交通情報の提供 ○バスロケーションシステムの導入 ・富山地方鉄道…笹津・石金・新庄・豊田・高岡方面の各系統、 バス停 46 箇所 ・加越能バス… 8 系統、 バス停 27 箇所 ・コミュニティバス…射水市、魚津市、黒部市、朝日町 ○路線バスの現在地情報等の提供 ・富山地方鉄道と加越能バスでは、パソコンやスマートフォン等からバスの現在地情報などを確認できる、路線バスの位置情報システム「とやまバス i（あい）」を提供。 ③多様なニーズに対応した付加価値の高い地域交通サービスの提供 ・市町村や交通事業者において、高齢者や妊娠中の方などを援助する福祉タクシーやマタニティタクシーなどに組み込まれている。また、商業施設等において、高齢者等の買い物を支援する買い物バスが運行されている。 ・高齢の運転免許自主返納者に対し、バスやタクシーの利用券等を配布し、生活交通の利用を支援する事業が全市町村で実施されている。 ④安全・安心な地域交通の基盤づくり ・一部の施設・設備は老朽化が進み、計画的な更新が必要となっている。 ・交通事業者が実施する鉄軌道の安全輸送設備等の整備に対し、国の支援制度を活用しながら、県や沿線市町村が必要な支援を行っている。
主な課題と対応案	○高齢の運転免許返納者が増加しているが、自動車を利用しない高齢者等が地域交通を利用しやすくなるよう、ノンステップバス等の導入を推進するとともに、バスロケーションシステム等により運行情報の提供を拡大するなど、引き続き利便性の向上に取り組む必要がある。 ○駅のバリアフリー化については、エレベーター設置などで多額の経費がかかることから、国の支援制度を活用して進めていく必要があり、国に対し補助要件の緩和を働きかけていく。 ○持続可能な地域交通を実現するため、交通環境の整備を進めるにあたっては、投資の効率性や採算性等にも留意する必要がある。 ○県内での全国相互利用可能な交通 I Cカードの導入（片利用を含む）について、引き続き、関係交通事業者において研究を進める。

◇目標指標	（策定時）	（現状）	（目標）
全国相互利用可能な交通 I Cカードの鉄軌道・バス数	1 路線	1 路線	できる限り増やす
ノンステップバス導入率	5 3 %	5 4 %	8 0 %以上
バスロケーションシステムを導入している事業者数	6 事業者	6 事業者	できる限り増やす

●バリアフリー化された拠点性の高い駅

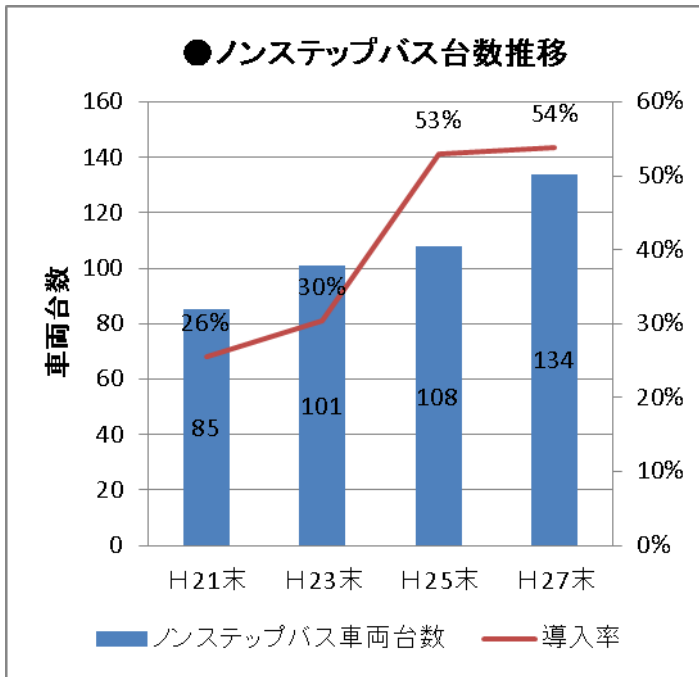
あいの風とやま鉄道	富山、高岡、石動、小杉、呉羽、魚津
富山地方鉄道	電鉄富山

※北陸新幹線駅を除く、利用者3,000人/日以上 の駅

●県内市町村の高齢者運転免許の自主返納支援事業

市町村名	対象年齢	支援内容
富山市	満65歳以上	公共交通やタクシーに使える支援券2万円分
高岡市	満65歳以上	公共交通の乗車券15,000円分(75歳以上は10,000円分)
射水市	満65歳以上	市コミュニティバス及びデマンドタクシーの無料乗車証(2年間)
魚津市	満65歳以上	市民バス回数券5セット(1万円分)か、タクシー金券1万円分
氷見市	満70歳以上	加越能バス回数券、タクシー利用券、市内NPOバス利用券(各2万円分)のいずれか。
滑川市	満70歳以上	コミュニティバス(のるマイカー)の3年間有効のフリー乗車券を交付
黒部市	満70歳以上	タクシー利用券(2万円分)や電動補助機付自転車の購入費助成(上限2万円)コミュニティバスの回数券購入費助成(上限2万円)など7種類のうち一つ
砺波市	満70歳以上	20,000円分の公共交通(市営バス回数券、加能越バス回数券、タクシー)利用券
小矢部市	満70歳以上	市営バス1年定期券(24,000円相当)
南砺市	満70歳以上	市営バス6ヶ月定期券2枚、市営バス回数券、加越能バス回数券、JRバス回数券、タクシー会社利用券(各20,000円相当分)のうち一つ
舟橋村	満65歳以上	交通費、通院費支援として月額4,000円支給(5年間)
上市町	満65歳以上	町営バス無料乗車証(3年間)
立山町	満65歳以上	町営バスの3年間フリーバス定期券
入善町	満65歳以上	町営バス運賃等割引カード(運賃・回数券・定期券の代金が5割引)
朝日町	満70歳以上	町限定で使える商品券(15,000円分)、老人福祉センター回数券、環境ふれあい施設入浴券、公共バス回数券、パークゴルフ場利用券のうち一つ
タクシー協会		高齢者等が運転免許証を返納し、運転経歴証明書を取得した方を対象に県内のタクシーを利用された際にタクシー運賃を1割引

●富山県の免許返納者数の現状

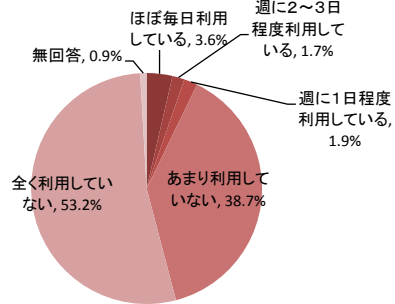


地域交通ビジョンの進捗状況と課題【関係者の連携による取組みの推進】

基本的な方向	交通事業者、行政、県民等が連携協力し、地域交通の利用啓発や持続可能な事業環境の整備を進める。
これまでの主な取組と現状	①「鉄軌道王国とやま」の情報発信 ＜平成26年度＞ ・鉄軌道王国とやまPR企画展（さいたま市の「鉄道博物館」で開催。自治体初） ・県内鉄軌道を体験乗車するモニターツアー ・4社合同による周遊スタンプラリー ・県内を周遊できる企画きっぷの造成・販売（夏・冬2回） など ＜平成27年度＞ ・フォトコンテスト（応募総数595点） ・県内を周遊できる企画きっぷの造成・販売（エリアごとに3種類） など ＜平成28年度＞ ・フォトコンテスト入賞作品を使用したオリジナルフレーム切手の発売 ・県内の鉄軌道の魅力等を発信するポータルサイトの設置（予定） ②県民の地域交通の利用促進に向けた啓発活動 ・本県は、1世帯あたりの乗用車保有台数が47都道府県中第2位と高い水準にあり、県民の地域交通の利用頻度について、週1回以上利用している方は7％程度など、多くの方には利用されていない。 ・市町村や交通事業者において、地域交通を利用したツアーの開催、商店と連携した乗車券の配布、イベントとのタイアップなど、地域交通の利用促進のための取組みが行われている。 ・城端線・氷見線や万葉線の日常の利用を促進するため、沿線市と県が連携し、沿線の見どころを紹介するケーブルテレビ番組を制作・放送した。（平成28年11～12月放送） ・県民・企業・行政が一体となり、普段は地域交通を利用しない方々に、地域交通の利用を啓発する「県・市町村統一ノーマイカー運動」を毎年実施している。（※1） （※1）平成28年度は9/20～10/14に実施。土日祝日も実施日に追加したほか、初めて一部のコミュニティバスが参加 ・市町村や交通事業者において、小学生を対象とした公共交通利用ガイドブックの作成・配布、交通マナーの啓発活動、交通安全教室の開催、小中学生に対する踏切指導、乗車指導などが実施されている。 ③バス運転手の確保など人材育成と交通従事者のおもてなし力の向上 ・バス運転手の安定的な確保に向け、富山県バス協会では毎年運転手イメージアップポスターを作成しているほか、各事業者も免許取得にかかる支援を実施するなど工夫して運転手の募集を行っているが、近年は必要な人数を確保することが難しいとしている。
主な課題と対応案	○地域交通を将来にわたり維持・発展させていくため、普段あまり地域交通を利用していない方々にもっと利用していただけるよう、交通事業者や行政、学校、企業、団体などが工夫して効果的な啓発活動に積極的に取り組むことが求められる。 ○持続可能な地域交通を目指し、県民も、可能な限り日常生活において地域交通の利用機会を増やすようご協力いただくことが求められる。 ○バス運転手など交通サービスの担い手の確保が重要な課題となっており、必要な交通サービスを提供できるよう、引き続き交通事業者において人材確保や人材の育成に取り組むとともに、引き続き行政も必要な支援を行う必要がある。

◇目標指標	（策定時）	（現状）	（目標）
ノーマイカー運動の参加者			
で、地域交通に切り替える意向のある者の割合※	23％	18％	できる限り増やす
地域交通乗り方学習の実施市町村数	2市	2市	15市町村

●現在地域交通を利用する頻度について
出典）H27 県政世論調査

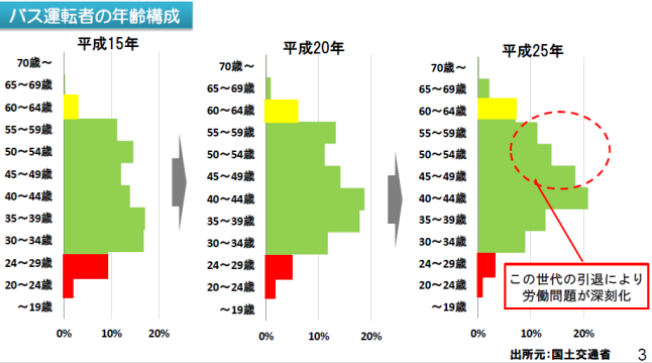


●城端線・氷見線・万葉線をCATVで紹介



●バス運転者の高齢化（国土交通省中部運輸局）

バス運転者の高齢化が進んでおり、現役世代が引退した後、深刻な労働力不足に陥るおそれ。



●商店等と連携した割引切符など利用促進事例

高岡市	中心市街地提携店で買い物をした方に共通回数乗車券を交付。万葉線対策協議会で企画する万葉線等公共交通機関を利用したツアーの開催
氷見市	JR氷見線応援委員会において、応援サポーターの募集（H27実績：174名）会員証の加盟店で提示で各種優待、氷見つまみ食いクーポン
魚津市	市内のイベント時に、あいの風鉄道及び地鉄と共同で企画きっぷを発行。市民バスを等利用したスタンプラリーの実施
滑川市	あいの風鉄道と「なめりかわ龍宮まつり」が連携し、企画きっぷを販売。
黒部市	・くろワンきっぷの開催、新幹線生地線フリー切符の導入、、新幹線市街地線運賃に係る社会実験
南砺市	観光列車「べるもんた」が運行開始により、車内での観光ボランティアによるガイド案内や、「べるもんた」に手をふる事業」、「さとやまルシェ」等を実施「べるもんた」利用者には管内観光関連施設にて特別優待
立山町	地鉄の車両内に写真や子ども達の絵画などを掲載する「立山あーとれいん」を運行
朝日町	春の四重奏、あさひまつり、笹川盆踊りにあさひまちバス臨時便を運行。
加越能バス	まわるん乗車券
富山地方鉄道	ぶりにかにバスの食事付きプランの設定、市内周遊ぐるっとバス1日フリー乗車券利用者の観光施設入館割引
富山地方鉄道	ぐるっとグルメぐりクーポン（市内電車）、魚津グルメフェスタ優待乗車券（ミラージュランド観覧車乗車券付き）、モーツァルト音楽祭イベント乗車券（西魚津～宇奈月温泉フリーきっぷ）等、くろワンきっぷ
万葉線	商店と連携し、帰りの乗車券を無料
あいの風	駅を起点としたウォーキングコースを掲載したパンフレットの作成、ウォーキングイベントの開催
ライトレール	花Tramモデル事業（市）、子供の日キャンペーン（地鉄）、親子おでかけ事業（市）、ノーマイカー運動（県）

●地域交通のマナー教室の開催等の事例

富山市	マイカーを利用の子育て世帯などを対象に、公共交通を体験する機会を提供するため、小学生に市内公共交通の無料乗車きっぷを配布
高岡市	市内全小学4年生を対象に公共交通ガイドを配布し、モビリティマネジメントや交通マナーの啓発活動を実施
氷見市	JR氷見線応援委員会において、JR氷見駅、雨晴駅、越中国分駅舎や車両を地元の高校生や保育園児、事業者従業員とともに清掃、その際にマナーを啓発。
魚津市	市民バス全車両で、音声案内や掲示板による啓発を実施。
黒部市	市出前講座にて「公共交通政策」部門を設定し、実施。・乗車体験会の実施
砺波市	高齢者のための「交通安全バススクール」や園児による「交通安全ジャンボ七タ設置」でのバス利用を促進。
小矢部市	市内の交通安全教室及びキャンペーン等啓発活動の実施
南砺市	南砺警察署及び南砺市交通安全協会等は、交通マナー教室や啓発活動を実施
朝日町	交通安全教室の開催
富山地方鉄道	啓蒙チラシ配布、通学路踏切にて街頭指導の実施
ライトレール	新小学校1年生に対する踏切指導（粟島駅）、新中学1年生に対する乗車指導（奥田中学校前停留場）